

平成 28 年度 ステップアップ講座(市川)

講演:「パーソン・センタード・ケアを学ぶ」を開催しました!

(市川市市民活動団体事業補助金対象事業)

日 時:平成 28 年 9 月 4 日(日)

講演会:13:30~15:30 無料相談会 15:40~16:40

会 場:市川市行徳公民館 4階第 2 学習室



台風 10 号が通過した後、今度は台風 12 号が近づき、当日は曇りのち雨の予報にて心配していましたが、雨は降ることもなく、22名の参加がありました。パーソン・センタード・ケアについて学びたいという強い思いで参加された方が多かったようです。

講師は、NPO法人 その人を中心としたケアを考える会 代表の 村田康子さん。ご性格そのままの柔らかい口調で話される村田先生の講演は、分かりやすく、後見人が認知症の方と話す場面のロールプレイが取り入れられて、話のそこかしこに後見人という言葉が出ていました。

参加者には医療や福祉の専門職が多く、認知症の方がいらっしゃるご家族の参加もありました。講演中は講師と参加者との双方向での対話があり、参加者の気をそらさない、あつという間の2時間の講演でした。

講演の中で印象的であったのは、尊重されるべきは「その人」だけではなく、「その人」と関わる人々も『パーソン』であり、関わる人々が尊重されない状態で対応してしまうと、対応される「その人」も尊重されることなく心理的ニーズは満たされないというお言葉でした。このケアを実践していけば、介護者の「燃え尽き症候群」も防げるのではないかとおっしゃっていました。

講演終了後には質問もあり、関心の高さがうかがえました。後半の無料相談会は、申込み2組で、後見活動の方法についての相談と、親族後見についての相談でした。

アンケート結果

アンケートに回答をいただいた方の参加動機は、「パーソン・センタード・ケアについて学びたい。」と67%の回答があり、全員が「(とても)良かった。」と回答しました。

「認知症の方の立場に立つ空想演出で、ほんの一瞬でも認知症の方の世界をリアルに感じることができ理解を深めることができた。」

「対象者の心理的ニーズを満たしてあげることの大切さを実感した。」

「認知症の方々への日頃の対応を振り返る良い機会になった。」等の感想が、アンケートに書かれました。

(理事：迫田記)